

JAうま

笑顔のふれあいネットワーク JA-UMA Communication Magazine

2019
10
Vol.283



特集1

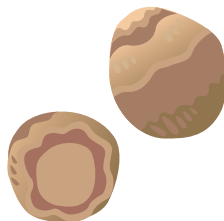
里芋「伊予美人」の出荷始まる

特集2

進める！協同プロジェクト

里芋「伊予美人」 出荷始まる

特集



JAうま

うま農業協同組合
vol.283/October.2019

10

令和元年10月

今月の目次 | contents

ページ

- 2 特集1 里芋「伊予美人」の出荷始まる
- 4 イチジク生産者 松木さんご夫妻
JAうまトピックス
- 6 特集2 進める！協同プロジェクト
- 8 あったか荘ダイアリー
- 10 宮農だより
- 12 プリエール通信
- 13 クロスワード・まちがいさがし
- 14 レシピ 里芋ピッツァ
- 15 俳句と川柳／お便りありがとう
- 16 インフォメーション
げんきびと
はばたけ未来へ

今月のうまキッズ

じょう 塩田 丈くん (2歳9カ月)

けん けんくん (11カ月)
丈夫に健康に
兄弟仲良く大きくな〜れ◎





圃場を視察する市場担当者ら

J A うまで9月11日、2019年産の里芋「伊予美人」(愛媛農試V2号)の出荷を開始しました。J A うま管内では農家約400戸が92ヘクタール(前年対比104%)で栽培しており、面積・出荷量が県内の6割以上を占める中国四国地区最大の産地です。初出荷を迎える愛媛さといも広域選果場にはこの日、約13トンの伊予美人が運ばれ、職員らにより丁寧を選果・箱詰めを行いました。

2019年産の伊予美人は、子芋・孫芋の着生個数、重量ともに前年や過去5年平均を上回っており作柄は良好です。出荷量は平年並みと見込まれています。四国中央市土居町で伊予美人を生産する尾藤秋貞さんは、「例年通りの美味しい里芋が出来た」と自信を見せてくださいました。尾藤さんは、田楽にしたり塩茹でにして食べるのが一番おいしいと話してくれました。J A うまでは、来年5月までに2300トンの出荷



を見込んでおり、初出荷分は県内はもちろん京阪神や広島へ、10月以降は関東へも供給します。

今年3月に選果が始まった「愛媛さといも広域選果場」では、日量35トンの選果が可能で需要に応じた調整・多元販売を一元化することによって、流通を合理化し出荷ロットを拡大した生産所得の安定化・最大化を図ります。

土居町関川河川敷では、9月10日から9月末まで「土居のいもたき」が開かれ、毎年県内外から多くの人が「伊予美人」のいもたきを楽しんでいます。

出荷直前の動き

8月下旬～9月上旬
試験掘り調査の様子



県とJA担当者は、豊岡地区16圃場、土居地区10圃場、寒川地区17圃場で生産者と伊予美人の試験掘り調査を行いました。
担当者らは、掘り取った里芋を親芋、子芋、孫芋に一つひとつ丁寧に仕分けし、今年の出来を確認しました。

9月10日
里芋出荷及び販売強化キックオフ大会



販売強化キックオフ大会には、JA全農えひめや市場関係者、市の職員ら75名が参加しました。

全農えひめ販売担当者は、令和元年度産の出荷計画及び販売基本方針について説明を行いました。品質の均一化・分荷機能の一元化により「愛媛チーム」として、里芋「伊予美人」ブランドの向上をはかります。また、9～10月の出荷比率向上により、早期の売り場確保および県内外における系統シェアの拡大を目指します。

30種以上のイチジク栽培に取り組む

松木聡さん・常代さんご夫妻

土居町に住む松木聡さんは、会社勤めをしながら早朝や休日等を利用して農業を営む兼業農家です。40年程前から妻の常代さんとイチジク栽培をしています。15年前から徐々に品種を増やし始め、現在13アールの園地で30以上の品種を手掛けています。松木さんの園地では、6月下旬から収穫を始め、11月中旬まで続く予定です。風味や色、形の違ったおいしいイチジクを消費者に提供しています。

イチジクには糖度が30度を超えるものなど250種類もの品種があるといい、黒い皮でねっとり濃厚な味わいが特徴の「カルフォルニアブラック」や縦模様が入った「ゼブラスイート」等、多品種を栽培しています。また、糖度22度から30度と高い糖度の栽培にもこだわり、一つひとつ丁寧に管理しています。松木さんは、「たくさん品種を栽培しているので管理する期間も長くなり大変だが、その分収穫する喜びも大きい」と思いを込め栽培したイチジクの収穫作業に力を入れます。

1シーズンで約1500パックを産直市に出荷しています。皮をむいたイチジクを凍らせ出荷する冷凍イチジクは、ジャムやスムージー、ヨーグルトに入れ食べる等、消費者にとっては手間も省けイチジクを美味しく楽しむことができる産直市の人気商品です。松木さんは「今年の作柄は、台風で収穫期に多少のズレはあるが、例年通りの甘くて美味しいイチジクとなった」と自信を見せてくださいました。



地域とのふれあいを大切に 寒川地区盆踊り大会に参加

8月3日、「寒川町夏祭り盆踊り大会」に今年も寒川支店職員と寒川地区女性部が参加しました。この盆踊りは、地域の子供や団体が参加していて、JAうまも「しあわせ連」という名前で毎年参加しています。会場の寒川小学校運動場にはやぐらが立ち、周りに出店が並びました。しあわせ連は練習の成果を発揮し今年も、最優秀賞に輝きました。



学校給食のお米守って ユニークな案山子がずらり

今年4月「四国中央市学校給食米田植え体験会」が行われた土居町蕪崎の圃場には、市内小学生や女性塾のメンバーらが作ったユニークな13体の案山子が圃場を囲むようにずらりと並び、訪れた人の目を楽しませました。

この案山子作りは、苗を植えてから収穫までの苦労を児童らに知ってもらおうと、食農教育の一環として毎年行われているもので、児童らがアイディアを出し合いながら休み時間等を利用して完成させました。

7月中旬、30アールほどある圃場には、今にも動き出しそうな個性豊かな案山子が四国中央市によって設置され、8月24日に行われた収穫祭まで児童が植えた稲を鳥獣被害から守りました。案山子作りに参加した児童らは、「案山子作りは大変だったけど、楽しかった」と笑顔で話してくれました。



2019年産米検査 消費者に安心・安全なお米を

JAうまでは8月13日から、JAうまライスセンターで米の農産物検査が始まりました。管内では、8月初旬からコシヒカリの収穫時期を迎えています。

検査では、農産物検査員の資格を持つ職員が「穀刺し」で袋から玄米を抜き取り、整粒・被害粒・未熟粒など一粒ずつ丁寧に検査を行いました。検査を行った営農経済部の河村完司部長は、「後半の好天に恵まれて良質の米が見込まれる」と話しました。

JAうまでは、2019年産の出荷量は約12,500袋（およそ375トン）を見込んでいます。今回、ライスセンターで乾燥・調整し検査された減農薬減化学肥料米は、「うまそだち」としてJAうま産直市などで地元消費者に販売されるほか、全農えひめを通じて出荷しており、市内の小中学校へ学校給食米として供給される予定です。



花火大会を前に 関川河川敷 草刈りボランティア

8月4日、関川河川敷ふれあい広場の草刈りボランティアに土居地区の店舗をはじめとするJA職員が参加しました。この活動は花火大会を前に毎年行われるもので、市内の団体や企業が参加しています。職員らは1年のうちに生い茂った雑草を草刈り機で勢いよく刈り、汗を流しました。





進める! 協同プロジェクト

地域活性化へ向けた取り組み

～地域との交流を「進める!」～

「イベントを通じて地域と関わる」

JAうままでは、地域のスポーツ振興と地域住民との文化的な交流の一環として、少年野球大会等のJAうま管内で行われるスポーツ大会の主催・運営をしています。8月にはJAうま管内の少年野球チームを対象にした第17回JAうま少年野球親善交流大会と県内外のチームも参加した第8回JAうまミニバスケットボール四国中央市大会が開かれ、両大会ともに児童らによる白熱した試合が繰り広げられ盛り上がりを見せました。

また、これらのイベント以外にもグラウンドゴルフ大会、ベタンク大会、健康麻将大会等、主管する団体の理念や目的に賛同し後援や協賛を行っているものもあります。

野球大会ではJA職員が準備段階から携わり、大会当日も会場設営から賞品搬入、運営の手伝いに東奔西走するなど大会に参加する方々が気持ちよくプレーし、最高のパフォーマンスが発揮できるよう裏方として大会に参加しています。



あぐりスクール
伊予美人植付け



学校給食米
田植え祭り



あぐりスクール
お茶摘み体験



グラウンドゴルフ



健康マージャン大会



学校給食米
収穫祭



ペタンク大会



JAうまミニバスケット
ボール四国中央市大会



あぐりスクール
伊予美人収穫



第15回四国中央市
学校給食米収穫祭



児童代表挨拶をする玉井さん

第15回四国中央市学校給食米収穫祭 8月24日、土居町蕪崎の圃場で第15回学校給食米収穫祭が開かれました。四国中央市内の小学生と保護者ら計22人の小学生が参加し、稲を刈るための鎌の使い方をJAの営農指導員に教わりながら黄金色に実った稲を手際よく刈り取りました。

児童代表のあいさつでは、妻鳥小学校6年生の玉井優悠さんが圃場を所有している則友祝幸さんへの感謝の言葉と学校給食米への期待を述べてくれました。

心配された天候も大きな崩れはなく、稲の刈り取りを終えた児童らは愛媛さといも広域選果場施設内で開かれた新米を使ったおにぎりパーティーでおにぎりを口いっぱい頬張っていました。

今回収穫した学校給食米と同じく減農薬・減化学肥料で栽培している地域ブランド米「うまそだち」は、「コシヒカリ」と「にこまる」の2品種を採用しており、地元農家でおよそ37ヘクタールを作付けしています。今年度収穫されたうまそだちは、市内すべての小・中学校と一部幼稚園で給食として使われる他、JAうま産直市でも販売されます。



第17回 JAうま少年軟式野球親善交流大会



優勝チーム

準優勝チーム



土居北軟式スポーツ少年団



青空スポーツ少年団



第8回 JAうまカップミニバスケットボール四国中央市大会



**女子の部
優勝チーム**

**男子の部
優勝チーム**

「これからJAが担う役割」
JAは地域に根差した総合事業体です。地域農業の発展と地域の活性化は地域にとってもJAにとっても重要なことだと言えます。あぐりスクール等の農業体験は食農教育の一環として「食と農」への理解を深めます。また、スポーツ・イ
少子高齢化や農業の担い手不足が叫ばれる中、「農」へ触れるきっかけや地域交流の支えとしてこれからも地域との関わりを大切にしたい取り組みを進めていきます。



C-friends女子ミニバスケットボールクラブ

準優勝チーム



土居北ミニバスケットボールクラブ



金子ミニバスケットボールクラブ

準優勝チーム



C-friends男子ミニバスケットボールクラブ【Aチーム】

● あったか荘ダイアリー ●

あったか荘川之江

● 季節のイベント楽しむ

8月は、夏の定番そうめん流し、大型スーパーへの買い物、お誕生日の利用者さんとの外食など、季節のイベントを利用者の方々に楽しんでいただきました。「楽しかったよ」「また来年も行けるように頑張らないかね」と、とても喜んでくださいました。



10月の介護相談会開催予定日

10月15日(火) 中曽根支店
(午前10時～正午)

あったか荘三島

● 恒例となっているあったか荘夏祭りイベント

8月6日・7日・10日、利用者が全員、職員が持ってきた浴衣を着てルンルン気分。たこ焼き、ヨーヨー、かき氷、最終日には盆踊りを行い、夏の縁日気分を味わいました。職員も浴衣を着ると利用者から「べっぴんさんばっかりじゃ!!」と言っていました。とても楽しい3日間となりました。



10月の年金相談日(午前10時～正午)

10月

- 1日(火) 金生支店
- 8日(火) 長津支店
- 9日(水) 寒川支店
- 11日(金) 豊岡支店
- 16日(水) 松柏支店
- 17日(木) 川之江中央支店
- 24日(木) 中曽根支店
- 29日(火) 土居中央支店
- 30日(水) 本店

「『財政再計算』が発表されました」

五年に一度発表される年金財政検証結果が八月二十七日厚生労働省より発表されました。

基本となるのは経済成長率であり、根拠にあるのは少子高齢化である事は確かだと思われまます。経済成長率が一番高い場合でも将来の給付水準(所得代替率)は今より十六%下り、一番低い場合(成長率が横ばい)については三十%弱も下る予測が出ております。現行制度だと六十才まで働いて六十五才から受給する水準を保とうとすると、現在二十才の人だと六十八才迄働く必要があるとの見解が出ております。厚生年金保険率は平成二十九年九月以降変更ありません。(法律で決まっている為)今後年金制度を維持する為には、

- 一、保険料率を上げていく。
- 二、支給開始年齢を遅らせていく。
- 三、少子高齢化を解消し、人口を増やしていく。
- 四、日本経済が成長し、日本国民の賃金もおおいに上昇する。

三木茂 社会保険労務士からの
年金相談一〇メモ

三島中央経済センター・川下経済センター 土・日・祝日の業務対応について

「愛媛さといも広域選果場」の本格稼働に伴い、営農指導・相談業務の充実および効率化を図るため、川下経済センターと三島中央経済センターの土・日・祝日の業務につきまして、令和元年10月5日（土）以降はこれまで両経済センターで行っていた業務【購買事業（肥料・農薬・生産資材等）・販売事業（農産物の荷受・出荷等）】を下記施設で行います。

【川下経済センター・三島中央経済センターの業務対応について】

＜川下経済センター土・日・祝日対応＞

購買事業および営農指導事業は「土居中央経済センター」をご利用ください。

また、同センターで行っていた里芋他農産物の荷受につきましては、「愛媛さといも広域選果場」にて承ります。

※詳細につきましては、各生産者組織部会にてご説明いたします。

＜三島中央経済センター土・日・祝日対応＞

・購買事業、営農指導事業、里芋他農産物の荷受につきましては、「川之江中央経済センター」または「豊岡経済センター」にて承ります。

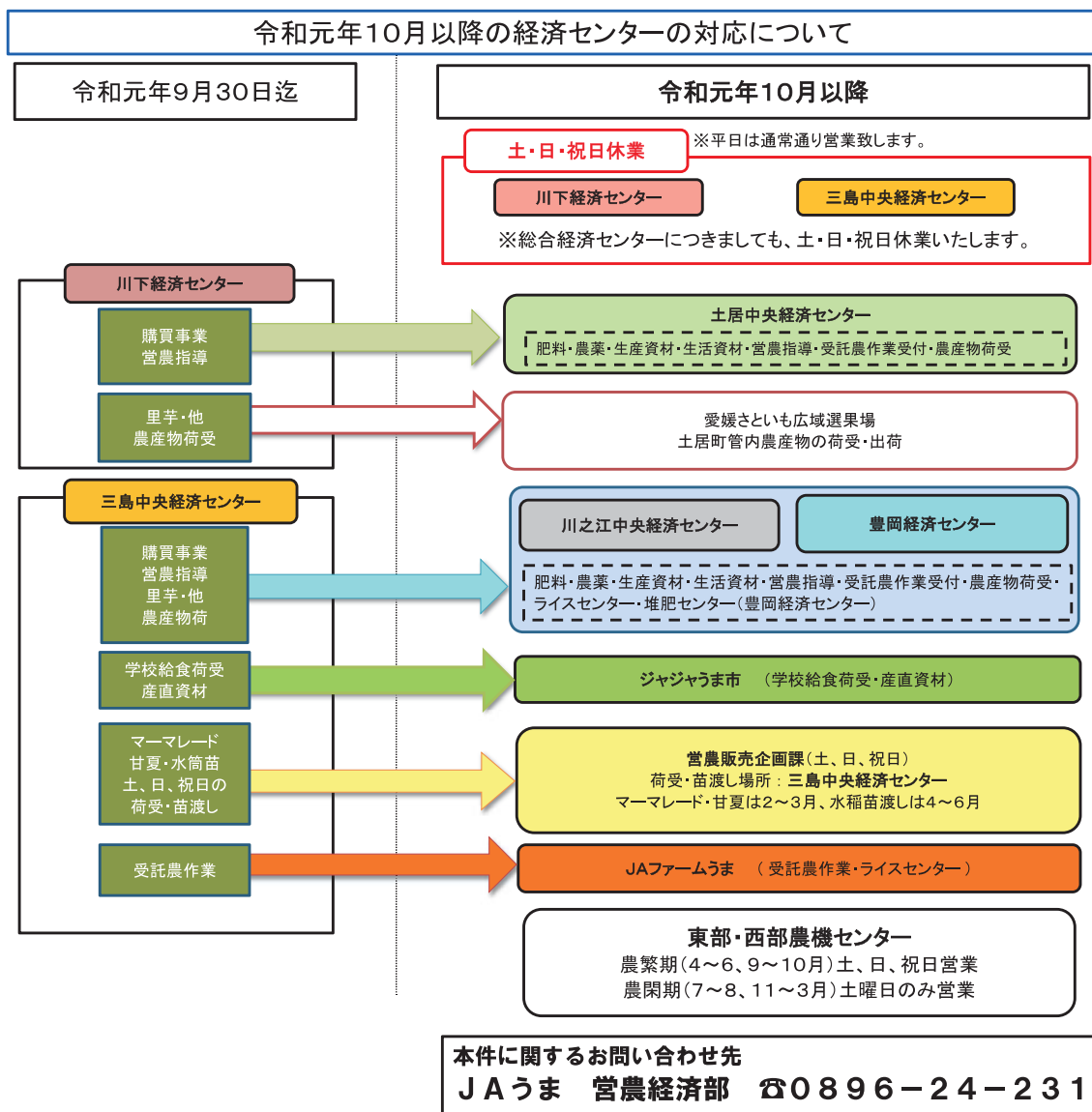
・学校給食荷受と産直資材につきましては、「ジャジャうま市」にて承ります。

・マーマレード・甘夏（2～3月）の荷受、水稻苗（4～6月）の苗渡しの土・日・祝日対応につきましては、今まで通り「三島中央経済センター」で行います。

・受託農作業の土・日・祝日の対応につきましても平日営業時間内に「三島中央経済センター」へご連絡ください。

※詳細につきましては、各生産者組織部会にてご説明いたします。

組合員・地域の皆様にはご不便・ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解・ご協力いただき、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



消費税改正に伴う販売代金精算の遅延について

10月からの消費税改正により、9月売立分の精算終了後に消費税改正の切り替えを行うため、10月売立分の全ての出荷農産物の精算が、最長で3週間程度遅れます。
皆様のご理解、ご協力をお願いします。

●宮農だより

知って美味しく！ サツマイモ

●美味しいサツマイモの選び方

全体にふつくと太く、ずっしりと重みを感じるものを選んでください。

細すぎるものやヒゲ根が多いものは繊維質なものが多いです。

すぐに食べず、保存する場合は、傷や変色した部分がないものを選びましょう。

※ねっとりとした液体がしみ出しているようなものは蜜が多いサツマイモです。

●保存の方法

中南米出身のサツマイモは寒さに強くありません。

寒さを防ぐために新聞紙で包んで常温で保存します。

寒すぎるとサツマイモも風邪を引いて痛んできます。

(10～15℃くらいが適温です。)

●美味しい食べ方

煮ても、揚げても美味しいですが、サツマイモと言えば、やっぱり焼き芋でしょう。

サツマイモは加熱することで、でんぷんが糖に変わるので、低温でじっくりと加熱すると甘みが増します。

おうちで作る場合には、オーブンを使用し250℃で30分ほどじっくりと焼くと美味しい焼き芋が出来ます。

様々なリスクから 農業経営を守る！！

収入保険

〔収入保険〕加入者の声



野菜経営者

露地野菜は特に天候の影響を受けやすい。価格低下の心配に加えて、近年は、台風や機音障害、豪雨などの異常気象で天候が読めないで、収入保険に加入して自然災害や価格低下に備えたい。

〔収入保険〕加入者の声



果樹経営者

豊作であっても収入が下がる、豊作貧乏の年があった。果樹共済では終了の減少しかみられず、足切りは3割。収入保険は価格の低下もみてくれて、足切りも1割と小さい。また、掛金も安かったので、収入保険に切り替える。

収入保険の概要

加入できる方

青色申告を行っている農業者（個人・法人）

※ 青色申告（簡易な方式を含む）の実績が1年分あれば加入できます。

対象収入

農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体

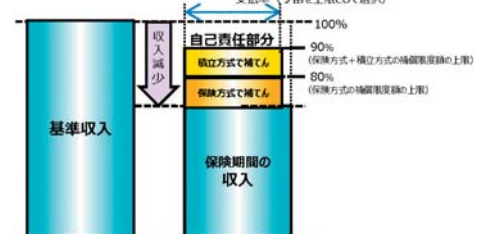
- ※ 簡易な加工品（精米、もちなど）は含まれます。
- ※ 一部の補助金（畑作物の直接支払交付金等の数量払）は含まれます。
- ※ 肉用牛、肉用子牛、肉豚、鶏卵は、マルキン等の対象なので除きます。

補てんの仕組み

- 保険期間の収入が基準収入の9割（5年以上の青色申告実績がある場合の補償限度額の上限）を下回った場合に、下回った額の9割（支払率）を上限として補てんします。
 - ※ 補償限度額及び支払率は複数の割合の中から選択できます。
 - ※ 「掛捨ての保険方式」に「掛捨てとまらない積立方式」も組み合わせるかどうかは選択できます。
- 農業者は、保険料・積立金を支払って加入します。（任意加入）
 - ※ 保険料は掛捨てになります。保険料率は、1.08%（50%の国庫補助後）で、自動車保険と同様に、保険金の受取が少ない方は、保険料率が下がっていきます。
 - ※ 積立金は自分のお金であり、補てんに使われない限り、翌年に持ち越されます。75%の国庫補助があります。

＜収入保険の補てん方式＞

（注）5年以上の青色申告実績がある者の場合
支払率（9割を上限として選択）



過去5年間の平均収入（5中5）を基本
規模拡大など、保険期間の営農計画も考慮して設定

【問合せ先】NOSA I えひめ 宇摩出張所 TEL 0896-75-1231

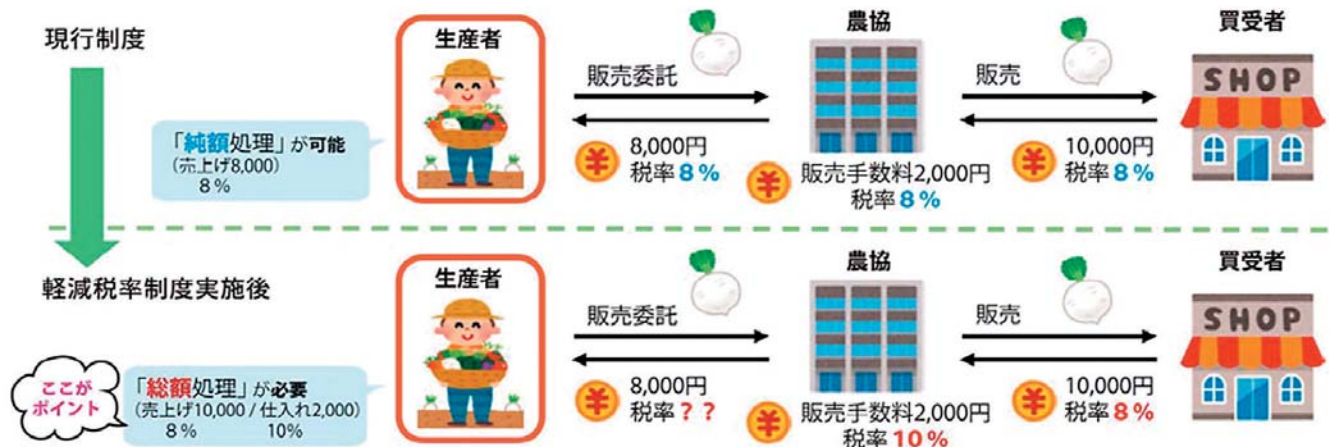
農協等への農産物委託販売に係る課税売上げの計算方法が変更されます

軽減税率制度実施後（令和元年10月1日～）

委託販売手数料と農産物の適用税率が異なるため、税率ごとに区分し、販売金額を課税売上げとし、委託販売手数料を課税仕入れとしなければなりません。

※販売金額より委託販売手数料を差し引いた金額を、課税売上げとすることは出来ません。

軽減税率制度が実施されると、飲食料品の譲渡は軽減税率（８％）が適用される一方、農協等の販売手数料には標準税率（１０％）が適用されます。これまで、農業者の方は、農協等を通じて委託販売を行う際、農協等の販売手数料を控除した後の額を課税売上げとすることが可能でしたが、今後は、実際の販売額（販売手数料を控除する前の額）を課税売上げ（８％）とし、販売手数料を課税仕入れ（１０％）として、それぞれ計上する必要があります。



営農経済部からのお知らせ

9月10日から『愛媛さといも広域選果場』が本格稼働致しました。
里芋「伊予美人」の知名度も向上してきており、市場からの要望数量も増加しております。

労働力軽減及び所得向上に向け、取り組みを実施してまいりますので
「伊予美人」の出荷をよろしくお願いいたします。

愛媛さといも広域選果場
TEL : 0896-74-5501



本年度から里芋「伊予美人」の購入は、JAうま産直市でお願いします。

ジャジャうま市 TEL : 0896-23-3377

おいでや市 TEL : 0896-59-6001

プリエール川之江会館に 洋風家族葬祭壇デビュー

時代とともに変わりゆく葬儀のかたち
一心に祈り、ありがとうの気持ちを送ります。

一般式場でゆったりと家族葬として
執り行うことができるようになりました。



葬祭施行スタッフ
急募!

水蓮40万円コース



水蓮55万円コース



水蓮65万円コース

各コースの内容については、
プリエールへお問い合わせ下さい。

事前相談
随時受付中!

ご葬儀に関するお問い合わせ、事前相談をいつでも承っております。
色々な疑問や不安がございましたら、遠慮なくご相談下さい。



葬祭会館プリエール川之江 TEL 58-6889
葬祭会館プリエール三島 TEL 24-5600
葬祭会館プリエール土居 TEL 74-2020

※プリエール土居は葬儀利用が無い場合業務の都合上、スタッフが常駐しておりません。
そのため、電話はプリエール三島へ自動転送されます。ご了承くださいませ。

ひめライス 令和初だぜ! 新米キャンペーン

令和初の新米を記念して、えひめのみなさまにプレゼント!

応募期間: 2019.8.23①-10.31②

合計 900 当たる!

1商品 ¥200 応募券

各名に

100 100 100 W 600

①コース 伊予牛「絹の味」
②コース ふれ愛・愛博マーク
③コース 紅まどんな

※A・B・Cコースは各賞品はイメージです。

主催: 株式会社 ひめライス TEL.089-960-3331

みんなここで悩んだ!

遺産の多くが実家の家と土地、
相続税の納税資金が足りない

被相続人が所有する自宅の土地の相続税評価額の出
し方は、「倍率方式」と「路線価方式」という2つの方
法があり、どちらになるかは実家が属する地域によつて
異なります。一般的に家の評価額はそれほど高くはあり
ませんが、土地は地域によっては高額の評価になること
も。都市部に土地付きの家を持っているだけで遺産総額
が多くなり、相続税がかかるケースが増えていきます。
自宅のほかに農地を持っている人は、評価額を確認し
ておかないと、相続時にあわてることがあります。農地の相
続税評価額は、「倍率方式」又は「宅地比準方式」によ
り評価します。市役所からの固定資産税納税通知書に記
載されている評価額ではありません。倍率方式は、その
農地の固定資産税評価額に一定の倍率を乗じて評価する
方法で、それほど高額になることは少ないですが、宅地
比準方式は、その農地が宅地であるとした場合の価額か
ら、その農地を宅地に転用するためにかかる造成費相当
額を控除した金額により評価する方法であるため、宅地
並みの高い評価額になることがあるので要注意です。

2つの節税対策

1、財産そのものを減らす……代表的なものが生前贈
与で、生きている間に現金、土地などを贈与する方法
です。また、現金の場合は、共済に加入することによ
り、現金を共済に替えて現金そのものを減らす方法も
効果的です。

2、評価を減らす……土地を分割する際に、分割方法を
工夫することにより、土地評価額を減らすことができ
ます。また、自宅の土地に関しては、一定の要件の下
にその評価額を80%減額できる切り札があります。そ
れは「小規模宅地等の特例」というものです。自宅の
土地以外に、事業用の土地も対象となります。
資産の多くが不動産という場合は、早期の相続対策や
納税計画が必要です。

大切な財産を守るため、セミナーに足を運び、ぜひ一
度専門家に相談してみたいかがでしょうか。
資産保全サポートセンターでは、組合員の皆様の贈与
や相続、資産管理などに関する困りごとを親身になって
サポートします。お気軽にお問合せ下さい。

お問合せ先

JAうま資産保全サポートセンター

電話: 0896-24-3827 Eメール: shisan-support@ja-uma.or.jp

または、JAうまホームページからお問合せ下さい。

クイズに挑戦!

クロスワードパズル

タテのカギ

②『羅生門』『鼻』は——龍之介の作品です

⑥建築士が引いたり広げたり

⑧サケなどの卵の塩漬け

⑨平仮名もアルファベットもこれの一種

⑩便箋に引いてある線

⑪資源などを再利用すること

⑮王様の耳は——の耳

⑮ゼイゴやゼンゴと呼ばれるうろこを持つ魚

⑮長崎県の北の端にある島

⑮炭酸水のこと。クリーム——

⑮だしで煮た鶏肉を卵でとじてご飯にのせる

ヨコのカギ

①島根県の観光名所、——大社。

神無月には日本中の神様が集まるのだとか

②大福餅の中身です

③10月の第2月曜は——の日。

国民の祝日です

④絵画や色紙を入れます

⑤江戸時代の旅人の履き物。

一足の——

⑦「カラスの足跡」と呼ぶシワができるところ

⑩騎手たちが1着を争います

⑫日本で3番目に広い湖

⑬釣りで使う擬餌針のこと

⑭一本釣りで知られる魚の一つ

⑮京都三大祭りの一つ、——祭は10月に行われます

⑮目で見える範囲のこと

⑮得の反対語



7月号の答え

肝試し(きもだめし)
(応募73通)

※解答は、漢字、ひらがな、カタカナ
どちらでも構いません。



二重マスの文字をA～Eの順に並べて
できる言葉は何でしょうか?

次回のクイズ締切日は10月25日(金)
必着。抽選で産直市お買物券を10名様に
プレゼント! 当選された方には発送
を持ってお知らせ致します。是非ご応募
ください。
JAうまHP <http://www.ja-uma.or.jp>
からも応募できます。

個人情報の取扱いについて
クイズ応募・投稿の際、ご記入いただいた個人情報については、プレゼント発送、本誌
「お便りありがとう」コーナーへの掲載のみに使用し、他の目的に使用することはありません。

キリトリ線

郵便はがき

7 9 9 0 4 2 2

63円分の切手をはってください



四国中央市中之庄町1684-4
JAうま 総合企画部ふれあい課
広報委員会 行

住所	(〒 —)		
TEL	()		
名前	性別	男・女	
	年令	才	
10月号 クロスワード解答			

※JAうま各支店・センター窓口にお出しいただくか、郵送してください

まちがいさがし



※答えは15ページのお便り
ありがとうございます。



上のイラストには下のイラストと違う部分があります。
間違っている部分を上の枠内の数字で探しましょう。

キリトリ線

里芋ピッツァ



●材料（4～5人分）

里芋	300g
小麦粉	100g
ベーキングパウダー	小匙 1
玉ねぎ	30g
トマト	1 個
ピーマン	1 個
ベーコン	3 枚
溶けるチーズ	140g
塩	少々
こしょう	少々
ピザソース	適量

●作り方

- ① 里芋はよく洗い皮のまま柔らかく茹で、ぬれ布巾で包みながら皮をむき、ボウルに取り出す。
- ② 熱いうちに塩、こしょうをして小麦粉とベーキングパウダーを加えよくこねる。
- ③ アルミホイルに油を引き、②を薄くのばす。
- ④ 玉ねぎは薄切り、トマトは半月切り、ピーマンは薄い輪切り、

ベーコンは粗いみじん切りにしておく。

- ⑤ ③の上にピザソースを塗り、野菜を彩りよく載せ、ベーコンとチーズをのせる。
- ⑥ オーブンを 200℃に熱し⑤を入れ 10 ～ 15 分くらい焼く。チーズが溶け、焼き色が付けば出来上がり。

理 事 会 だ よ り

令和元年度 第5回理事会 令和元年8月29日（木）

第1号議案 職務規程（職務権限表）の一部変更について（案）

第2号議案 福祉職員就業規則の一部変更について（案）

第3号議案 経済センター（土・日・祝日）営業拠点の集約について（案）

※理事会議事録は、各支店で閲覧できます。
1・2ヵ月遅れることもあります、ご了承下さい。

広報誌のキッズモデル大募集！

広報誌の表紙を飾ってくれるキッズモデルを募集しております。お子さんやお孫さんが広報誌「JAうま」に掲載しても構わないという方は、広報誌に付いているハガキまたは、お電話にてご連絡下さい。（四国中央市在住の方に限ります。ご家族での撮影もOK!）

掲載頂いた方にはJAうま産直市で使える「農産物直販所お買物券（500円分）」をプレゼント！写真撮影はJAうま広報担当が行い、撮影場所はご依頼者のご相談の上決定いたします。

連絡先

TEL:0896-24-3827

総合企画部 広報委員会 まで



広報誌ゆるぎやら さとりん

アンケートにご協力ください

1. 広報誌「JAうま」について、ご意見・ご感想を自由にお書きください

2. JA事業（金融共済店舗・経済センター・産直市など）をご利用にあたって、ご意見・ご感想を自由にお書きください

ありがとうございました

お便り投稿
（身近な話題・投書・イラスト・意見など自由に書き込んで）

ご紹介の際は…（いずれかに✓） ☐実名可 ☐ペンネーム（ ）

※JAうま各支店・センター窓口にお出いただくか、63円分の切手を貼って投函してください

俳句と川柳



俳句

「J」Aうまホームページ（お問い合わせフォーム）もしくは、本誌P14のお便り投稿はがきにてご投句ください。

仏崎亡夫と眺めた遠花火
梅雨空のけだるき人も動物も
ホームラン放つ夏空平和かな
早朝の窓から聞こゆ蟬時雨
七夕様棚に供へる茄子胡瓜
柏餅供へて姑の忌日かな
遠花火音賑やかに果てにけり
千の田に千の落日田水張る
四五人の友と米寿の夏一と日
夕涼の風に押したる乳母車

川柳

好奇心包み都合の海泳ぐ
変わらねば変えねばならぬ蟬の声
物忘れ笑えるうちが花だった
少年の太志世界を股にかけ
暑さ続き孫の一言涼を呼ぶ
初めてのトマト収穫はお擦りす
明日の事疑わないうで食べている
つゆ明けて猛暑続きで出られない
雨上がり虹がきれいな東空
手を出せばひ孫知恵つきそつぽむく

短歌

娘帰省湯上げ歯ブラシバジャマなどゆり生け待ちぬ思い膨らむ
太刀魚のぎらぎらそしてくねくねが夢に出てくる釣りの怨念
手に持ちし線香花火息をのみ子らは震へを必死に我慢

松本 順子
友健
井村真理子
山本 昭子
寺尾 島子
岸 豊子
松木 功子
竹内 式部
谷 秀子
石村 智子

本田 醇子
宮内カツ子
綾 和子
大西 昭美
鈴木 洋子
高橋 佳甫
西村 寛子
一柳ヒサ子
鎌倉 尊子
続宗 照子

石村 幸子
小田 慶喜
小田 和子



お便り
ありがとうございます

☆今、洋服のリフォームに凝っています。合わなくなったスカートをトートバックにし買い物に持参してエコ生活をしています。古く着たり、ワンピースの丈を切り短くして上着にしたりと工夫しています。雰囲気も変わり、気分も上々。節約で10月からの消費税対策に備えたい！

【編】着なくなった洋服も、工夫を凝らすだけで新しいものに生まれ変わりますね。
（Y.Sさん）

☆暑い暑い夏休み。子供は楽しそうだが母は昼食に大変です。給食のありがたみがわかります。子供たちは「宿題がなければいいな、夏休み」でしょうね。
（Mさん）

【編】長い夏休み、子供たちは楽しい夏休みですが、作る側としては「飯も「苦労です。」「私、毎年夏休みの終わりになるまで宿題をため込んでいました（笑）」

☆梅雨があけて急に暑くなつてひと雨欲しいところです。庭の花も私も。

【編】9月に入って少しずつ涼しくなった気がします。暑いと「涼しくなつてほしい」と思いますが、寒くなると「早く暖かくなつてほしい」と思ってしまう…。
（千鶴子さん）

☆孫が2歳、2人とも健やかにのびのびと成長する姿に目を細くします。遊びに来るときは、虫かごを用意しているので蟬取りと一緒に楽しみたいものです。
（あわいさん）

【編】お孫さんとの蟬取りは、あわいさんにとって貴重な大切な時間となりますね。

☆裏庭に蜂がとんでいるので水を飲みにきているのかと思つたら階段の踊り場の下側の雨にあたらないう場所に2つも蜂の巣が作られていました。

【編】蜂は要注意ですね！お気を付けてください。
（ちかさん）

☆我が家の犬雑種の柴犬ですが、18歳半になります。脳梗塞になつて耳が聞こえにくくなり、目も薄くなつても夕方6時ごろになつたら必ず入り口玄関で帰りを待ってくれる。足元もよたよたしているのに…。嬉しいですね。涙が出ます。
（Y.Kさん）

【編】本当にY.Kさんのことが大好きなですね。帰ってくるのが嬉しいのだと思います。

☆収穫したての農産物には、生命力がみなぎっている。新鮮な野菜や果物が並ぶ産直市は、本当にエネルギーをもらえる場所である。その、ワクワクに出会つたため、日々、産直市に通つて私である。
（三下りさん）

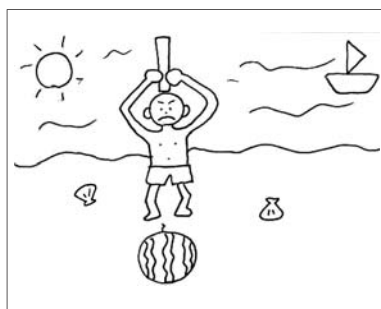
【編】いつも産直市のご利用ありがとうございます。新鮮でイキイキとした農産物を見ると元気がでます。是非、また「米店」ください！



【編】ぱんじゃくん！かわいいです。
（もれパンダさん）



【編】お店に並んでいる花や野菜を見ると季節を感じますね。
（Tさん）



【編】スイカ割りされたの、うか??夏の風物詩ですね。
（H.Mさん）



編集後記
6ページでもご紹介させていただきました松木さんのイチジク！とても甘くて美味しかったです！
（あわいさん）



ペタンクの練習に お邪魔しました！

8月22日、夏の日差しが照りつける中、関川河川敷で出会った赤星クラブ・八雲クラブの皆さん。

9月に行われたペタンク大会に向けた練習にお邪魔しました！



ナイス
ショット～!!

「何してるんですか??」と声を掛けると「大会の練習しよんよー!」とニコニコ。

わいわいと賑やかに、ペタンクを楽しんでいました😊



はばたけ！
未来へ

地域に夢と希望を与える プロ棋士になりたい

土居高等学校 情報科学部 佐伯 祐哉 さん

僕の将来の夢は、将棋のプロ棋士になることです。中学の頃から始めた将棋は、やればやるほど奥が深く、年齢層も広いので色々な世代の人たちと関わることができる魅力ある競技です。

私が通う土居高校情報科学部では3年前から、地元伝統文化を伝承する活動を行っており、僕が将棋以外に力を入れている事の一つでもあります。昨夏、四国中央市特産の「赤石五葉松盆栽」をテーマにしたプランを提案し、第10回観光甲子園訪日部門で全国1位に輝きました。しかし、残念ながらツアーの実現には至らず、悔しい思いをしました。今回こそ、先輩たちの想いを受け継ぎ盆栽ツアーを実現させ、四国中央市の魅力を海外へPRしたいです。

僕がプロを目指している将棋は、世界での認知度はまだまだ低いです。将来は、この部活での経験を活かし日本の「将棋」を世界に広め、目標としている藤井聡太七段のような、地域に夢と希望を与えるような棋士になりたいです。

